

バッゴ（BAGGO）の遊び方、ルール

ゲームの概要

バッゴは、離れて設置したプラスチックボードをめがけてビーンバッグを投げる、的入れゲームです。

子どもからお年寄りまで、車椅子の方でも楽しめるバリアフリーなゲームで、場所を選ばず、屋内外で楽しめ、ルールも簡単で、携帯性に優れており、設置もとても簡単です。

初心者でもすぐに取り組み、子どもから高齢者まで、車椅子の方も楽しめるスポーツです。

また、多世代型スポーツとして、レクリエーションに最適なニュースポーツです。

用具

- ・傾斜ボード : 2枚 (86cm×56cm×6cm) プラスチック製
- ・ビーンバッグ : 8個 (赤色4個・青色4個) 1個240g
- ・距離設定用ひも : 1本

コート

ほぼ平坦な所ならどこでもでき、プレーヤーに合わせて距離を設定することができる。

- ・2～4才 : 2m40cm
- ・5～8才 : 3m60cm
- ・9～12才 : 4m50cm
- ・13才以上 : 5m40cm
- ・正式競技 : 6m00cm

人数・ゲームの種類

- (1) 基本は2チーム (1チーム2名) で行う「チーム戦」
- (2) 1名対1名の「個人戦」もできる

ゲーム

(1) ゲームの進め方

①第1ラウンドの開始・・・ジャンケンをして勝ったチームが優先的に「先攻・後攻」または「場所 (ボードの右側・左側)」のどちらか1つを決めることができます。

②先攻のプレーヤーがボードを目掛けてバッグを投げることでゲームがスタートします。投げる際にスローイングライン (自分側ボードの前面の延長線上) を踏み越えてはいけません。バッグは各チームが交互に投げます。

③それぞれのチームが4個のバッグを交互に投げ、すべて投げ終わったら1ラウンドを終了し、得点を計算します。

④次のラウンドは、もう一方のサイドのプレーヤーが同じように交互にバッグを投げます。その際に、前のラウンドで得点を取得したチームが先攻で、投げるポジションは前のラウンドで負けたチームに選択権があります

(2) 得点計算方法

①21点を先取したチームが勝ちとなります。(状況によっては11点先取も可)

②ホールに入った場合＝3点 ボードの上に乗った場合＝1点

③1ラウンド毎の両チームの合計得点の差を、得点の高かったチームが取得します。

④ボードに乗っている相手チームのバッグに当てて穴に入れた場合、自分のチームの得点になります。

⑤次の場合は得点になりません

- ・バッグを投げるときにスローイングラインを踏み越えた場合
- ・バッグがボードから落ちた場合
- ・バッグが床面に触れている場合
- ・相手チームによってバッグがボードから落とされた場合

審判

原則として、競技中の判定は、各チームが公平に行う。